

かがわマラソン2026（仮称）

基本計画

P2	大会概要
P3	コース概要
P4	コース設計における基本方針
P5	競技計画
P7	運営計画
P9	地域の盛り上げ計画
P12	地域への経済波及計画
P13	協賛等募集計画
P15	広報計画
P16	年次計画

◆ 開催概要

- 大会名称 : かがわマラソン2026(仮称)
- 開催日 : 令和8年(2026年)3月15日(日)
- 参加人数 : 10,000人
- 種目 : マラソン(42.195km) ※日本陸上競技連盟公認取得を目指す
※ファンランを別途計画
- スタート : 午前9時から午前10時で検討
- 制限時間 : 6時間
- 主催 : かがわマラソン(仮称)実行委員会
構成団体(香川県、高松市、綾川町、一般財団法人 香川陸上競技協会ほか31団体)
- 主管 : 一般財団法人 香川陸上競技協会(予定)

◆ 開催目的

- ①スポーツ文化の醸成
- ②交流人口の拡大
- ③地域資源の魅力を県内外に発信
- ④地域経済の活性化

◆ 大会コンセプト

だし惜しみなし！香川の魅力

瀬戸内海や里山・都市という香川ならではの風景を、
県内外から多くのランナーに爽やかな風を感じてもらいながら走っていただく。
香川の食文化・伝統芸能やおもてなしまで、すべてを愉しんでいただける大会に。

“オール香川”のコシのある力強さが、香川を盛り上げる！

ランナーもボランティアも応援する人もみんなが楽しめて、
香川県民総出で盛り上げる、特別な一日を。
香川の新しいお祭り スタートです！

◆ 大会スローガン

「みんなで、よーい、うどん！」

◆ スタート・フィニッシュ会場の基本的な考え方

- 10,000人のランナーを、安全にスタートまたフィニッシュさせることが可能な道路やスペースが周辺に存在すること
- 更衣室、手荷物預かり所、仮設トイレ、ランナーサービス等のエリア内に必要とする要素がすべて収まるまとまったスペースが存在すること
- ランナーや観客等を円滑に輸送することが可能な公共交通機関が近くに存在し、会場までの動線が分かりやすいこと
- フィニッシュにふさわしいランドマークとなるような施設であり、ランナーの達成感を醸成できること
- 既存の公共施設を有効活用すること

スタート・フィニッシュ会場候補地：
あなぶきアリーナ香川(香川県立アリーナ)



Copyright(C)2021 Kagawa Prefectural Government and SANAA. All rights reserved.

◆ コースの魅力

- コースの起伏を最小限に抑えたランナーにとって走りやすいコース
- 高松中心部を発着する都市型のコース設計により、ランナーや応援者のアクセスが良いことに加えにぎわい創出が期待できるコース
- 高松の目抜き通りである中央通りを走り抜ける非日常感あふれるコース
- 特別名勝「栗林公園」や里山など讃岐平野ののどかな風景、瀬戸内海を臨めるなど、香川の魅力や自然を満喫できるコース



◆ 地元住民への影響を最小限に抑える方策

- コースラインや川に囲まれるような居住エリアの袋小路を極力回避
- 鉄道軌道を避け、公共交通機関への影響を最小化
- 交通渋滞の発生を極力抑制するような迂回路の確保
- 住民生活のライフラインである病院等へのアクセスや消防等緊急車両の動線を最大限に確保

◆ ランナー募集方式

先着方式、抽選方式のメリット、デメリットを比較して、エントリー方式を検討する。

<エントリー方法の整理>

方式	メリット	デメリット
先着方式	① 早く申し込みれば、必ず出走できる ② 抽選結果に左右されず、ランナーがレース計画を立てやすい ③ 定員到達が早ければ、人気大会として大会PRとなる	① エントリー開始初日で定員到達した場合、エントリーの遅れたランナーは出走できない
抽選方式	① 定員到達によってエントリーを逃すことなく、期間内であれば申し込むことが可能	① 申込から抽選、当落通知、入金期間完了まで少なくとも3か月程度の時間を要する ② 当落に左右され、ランナーがレース計画を立てにくい

◆ ランナー受付

- ・ マラソン本番前日に実施
- ・ 協賛企業ブースや地元PRブースエリアを設置して、にぎわいを醸成
- ・ メディカルチェックシートを用いて、ランナー自身に体調の再確認を依頼

◆ 収容関門

- ・ 交通状況を考慮し、円滑な運営のため収容関門を設置
- ・ 閉鎖時刻に間に合わないランナーは関門バスで収容し、フィニッシュ地点へ輸送
- ・ 収容関門は8箇所程度を検討



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 給水・給食所

- ・ 適切な給水・給食所の検証
- ・ 水分補給として適切な量と配分の算出
- ・ 香川らしい給食内容の検討(地元企業、団体の協力を打診)
- ・ 円滑な給水・給食所の設営・撤去計画の策定
- ・ 給水・給食所は12箇所程度を検討



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 沿道仮設トイレ

- 沿道の公共施設、事業者、駐車場等に設置場所提供の協力をいただく
- 沿道の既存公共施設については常設トイレの借用を検討
- スタート付近に近いほど多く設置するなど、設置数のバランスを検討
- 利用時のランナーと通行者との接触、衝突を防ぐため、専任ボランティアを配置



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 記録計測

- 記録計測箇所はスタート地点、フィニッシュ地点、5km毎、中間点を基本として検討
- 事前に計測専門会社による計測地点の感度テストを実施し、使用する計測チップの検討を実施



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 審判員

- 香川丸亀国際ハーフマラソンの実績をベースに審判員の配置を検討
- 行政職員、ボランティアと業務分掌を明確にし、審判員との円滑な連携を図る



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 医療・救護

- 医師、看護師、救急救命士、救護スタッフ等の適切な人数配置を検討
- スタート・フィニッシュ会場に2箇所、コース上に8箇所程度の救護所設置を検討
- 緊急連絡体制の確立
- AED等の救護アイテムを適切に配備



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ セレモニー

- 香川らしい演出を取り入れたスタートセレモニーの実施
- 上位入賞ランナーを対象とした表彰式の実施
- 完走したランナーに達成感や高揚感を与えるフィニッシュ地点付近での演出



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ ボランティア計画

ボランティア組織の考え方

- ボランティアの十分な確保、及び研修の充実を図る
- 次年度以降の開催を見据えた、中長期的な視点を持つボランティア組織を構築
- ボランティア募集から、当日の管理までを行うボランティアセンターを設置
- 地元各団体へのボランティア活動依頼

<アプローチ先イメージ>

地元企業、スポーツ協会、地域団体、地元大学、地元高校・中学校、スポンサー等

- ボランティア活動先への配置

<活動先例>

受付、コース沿道、給水・給食、手荷物、救護、誘導・案内 等



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

ボランティア募集

- ボランティアを、団体ボランティアと個人ボランティアの2つに区分

<団体ボランティア>

学校・企業・各種団体など、数十名から数百名単位の組織での活動を行っていただく
ボランティアを「団体ボランティア」と定義

<個人ボランティア>

一般に広く周知し、募集

個人で応募いただいたボランティアを「個人ボランティア」と定義

応募条件は「5名以上を1組とする」等、よりチームワークを発揮しやすい手法を検討

◆ ランナー輸送

- 公共交通機関利用を周知する
- 必要に応じて公共交通機関と連携し、輸送能力の検証を実施



◆ 交通対策・安全対策

- 交通規制からランナー通過までの円滑なコース準備計画
- 車両、歩行者のコース内への進入禁止
- 適正な資機材とスタッフによるランナーと一般車両の安全な分断
- 地元住民へ交通規制の周知と迂回路の案内
- 歩行者の適切な迂回路の確保が難しい個所においては、必要に応じて歩行者をコース横断させる方策を検討
- 緊急指定交差点(競技中に緊急車両をコース横断させる交差点)の設置を警察、消防等と調整し、検討
- ノーマイカーデーの呼びかけ



第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ 警備・誘導

- 県警と合意のもと、安全を担保する警備、迂回誘導計画を構築
- 会場内においてランナー専用エリアと応援者エリアを明確に区分けし、双方にとってストレスのない規制エリア計画を構築
- スタートやフィニッシュ、人が集まりやすい沿道地点での安全な雑踏警備計画を構築

◆ 駐車場

- 参加ランナー、応援者には公共交通機関での来場を促す
- 会場周辺の交通渋滞や、駐車場への入庫渋滞によるスタート遅延等のリスクを回避するため、会場付近にランナー用の駐車場は準備しない

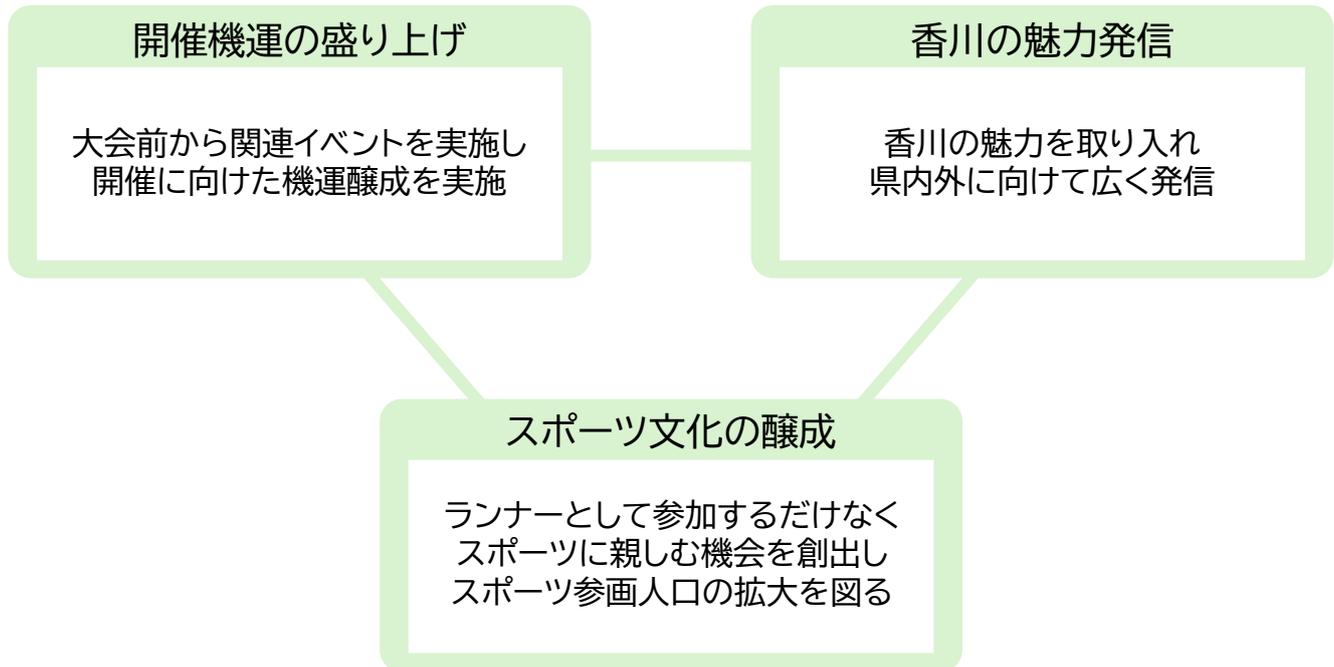
◆ 緊急事案対応

- 人命にかかわる事案を最優先事項として、参加ランナーの安全は勿論のこと、近隣住民、道路利用者の安全・利便性を考慮し、緊急時の連絡体制を構築
- 天候や自然災害等による、大会の開催可否の判断を行う会議を実施
- 大会開催中の突発的事案による中止時の連絡体制やランナーの安全な誘導フローを構築

◆ 基本的な考え方

大会前や当日に、さまざまな関連イベントをスタート・フィニッシュ会場やコース沿道で実施し、県民全体が新しい“お祭り”として楽しみながら参加していただける大会を目指す

◆ 関連イベントの目的



◆ 関連イベントの事業展開案

- ① 香川県内参加者裾野拡大施策
- ② かがわマラソンEXPO2026(仮称)
- ③ 沿道応援イベント
- ④ インフルエンサー等とのタイアップ

◆ ① 香川県内参加者裾野拡大施策

展開案①

マラソンのエントリー枠に、県民先行枠やマラソン初心者でも参加しやすいファンランを設定し、県民が参加しやすい大会を目指す

展開案②

従来のマラソンファンや一般の方にも知名度の高いゲストを招致することで、県民からの関心を創出し、楽しみとなる大会を目指す

展開案③

オリジナル応援のグッズ制作や地元商店街と連携した応援企画など、ランナーだけでなく、応援を含む県民全体の参加促進を狙う

展開案④

県内マラソン大会や地元ランニングクラブと連携し、オフィシャルの練習会を実施初めてのマラソンでも、安心して始められる体制を用意



◆ ② かがわマラソンEXPO2026(仮称)

展開案①

2025年に開場するあなぶきアリーナ香川(香川県立アリーナ)をEXPO会場として活用
EXPOは参加ランナーだけでなく、一般の方にも参加していただき、県産品等が一挙に楽しめるイベントとして、県全体のPRを実施

展開案②

ステージを設置し伝統芸能のお披露目、その他企業とのタイアップ活動なども実施



上左3点は、第76回香川丸亀国際ハーフマラソンより

◆ ③ 沿道応援イベント

展開案①

沿道パフォーマンスエリアを設置し、地元の各種団体にご協力いただく事で、太鼓、ブラスバンド、ダンスなどを披露

展開案②

伝統文化団体にもお声がけし、香川の伝統芸能でランナーを盛り上げるとも文化を発信できる場として活用



◆ ④ インフルエンサー等とのタイアップ

展開案①

昨今のマラソン大会におけるSNSの活用状況をふまえ、他大会での成功事例を基に、新しいマラソンファン層を開拓できる人気インフルエンサーの起用を検討

展開案②

県外からの積極的な参加を獲得するため“かがわマラソン(仮称)PRアンバサダー”を設定
香川の魅力を県内だけでなく県外にも発信



◆ 基本的な考え方

マラソン大会開催をメイン事業とした経済波及効果だけではなく、さまざまな事業と連携し、経済波及効果の最大化を目指す

◆ 事業展開案

展開案①

香川まるごとPRエリアの設置

一般参加可能な県産品等が飲食できるスペースをEXPO会場やフィニッシュ会場に設置



展開案②

ランナーお接待サービス

フィニッシュ後のランナーサービスとして、県産品の配付やマッサージコーナーの設置など、ランナーへのおもてなしを充実させ、香川のお接待文化を感じていただき、イメージアップへつなげる



展開案③

街のにぎわいの創出

地元商店街と連携し、ランナーや応援者へサービス券を配布するなど、足を運びたくなる施策を実施することで、街のにぎわいを創出し、来県リピーターの獲得を目指す



展開案④

オリジナル応援グッズ制作

香川の地場産業とコラボした応援グッズを販売
大会当日の盛り上がりだけでなく、香川のPRとしても活用可能



展開案⑤

かがわマラソン(仮称)お土産セット

ご当地のお菓子、ドリンク等をEXPOで限定セット販売
お土産として、自宅に帰ってから香川を楽しめる商品を展開



展開案⑥

給水・給食で魅力ある香川の食を提供

うどんをはじめとした、香川の魅力ある食をコース上の給水・給食所で提供することにより、ランナーの疲れた体に活力を与え、香川の魅力を感じてもらうことで、大会後の購買意欲を醸成



◆ 基本的な考え方

- 国内大手企業のほか、多くの地元企業から協賛を得ることで地域全体で支える大会づくり
- 最上位ランクにプラチナパートナーを設け、獲得協賛金の最大化を図る
- 上位協賛ランク企業、配慮しなければならない業種の企業を除き、競合排除権を原則撤廃
- 協賛枠のすそ野を拡大し、県内の地元企業に多数かつ多様に参画いただける機会を創出
- 競技運営、大会運営に必要な物品・サービスにおいて、現物協賛を幅広く検討、獲得

<協賛ランク>

最上位のプラチナパートナー枠を設定し、大会の軸となりえる大型協賛の獲得を目指す

以下、ゴールド、シルバーランクまで競合排除権を与え、その他は原則撤廃とする

小口協賛である協力企業枠まで設定し、地元の多様な企業に多く参画いただける機会を創出



<協賛企業募集方法>

- ① 県内・県外企業、特に県外のマラソン関連企業(スポーツアパレル、飲料、保険等)のリストアップ
- ② 基本となる協賛パッケージを整理・作成して県内企業を中心に、上位カテゴリーの協賛ランクからアプローチを開始
- ③ 同時に競技運営・大会運営に必要な物品・サービスを洗い出し、現物協賛が可能な企業へアプローチ

<協賛権利付与>

協賛ランク順にメリットを整理し、基本パッケージを作成

アプローチする企業によって、オリジナル協賛メリットの作成やアクティベーション施策を合わせて提案

基本協賛項目案	
	呼称権
	大会ロゴ使用权/商品化権/写真使用权
ロゴ掲出	アスリートビブス
	公式プログラム広告
	公式ポスター
	公式ホームページ
	スタート会場大型ビジョン
	スタートタワー/ フィニッシュタワー
	スターター台
	距離表示掲示板/ フィニッシュエリアバナー
	バックパネル
	折り返しタワー/ フィニッシュテープ
出走枠	無償/有償
	キャンペーン利用
EXPO	ブース出展
ブース	ランナー受付袋チラシ封入

<その他>

- ・ 県内で開催される他大会と連携したオリジナル協賛メニューの開発を検討
- ・ カーボンオフセットパートナーなどの特別ランクを設定し、社会課題解決型スポンサーの獲得を目指す
- ・ 収入源として協賛金以外に、ふるさと納税者の最大化を図る
- ・ プラチナパートナーにはメディア協賛もセットし、大会全体の盛り上がり向上に寄与いただく

◆ 基本的な考え方

かがわマラソン(仮称)の魅力発信で参加者の拡大を図り、交通規制の周知など、大会開催の周知広報計画を検討

また、県内外メディアとも協力体制を作り、事前の盛り上げや当日の中継、記事掲載等を行い大会の機運醸成を図る

◆ 広報区分

■ 県内向け …開催周知(開催日、交通規制、沿道応援など)・機運の醸成

- ・ 説明会開催による周知
- ・ 県・市広報の活用、地元の新聞社・テレビ・ラジオ・タウン情報誌等によるPR
- ・ 交通規制看板の設置、交通規制チラシの配布等による周知

■ 県外向け …開催周知、参加者募集

- ・ ランニング情報誌、ランナー向けインターネットサイトによるPR
- ・ 他のマラソン大会等でのPRイベントの開催
- ・ テレビ・ラジオ・新聞等のメディア取材
- ・ インフルエンサータイアップによる告知展開

■ 国外向け …参加者募集

- ・ 海外ランナー向けインターネットサイトによるPR
- ・ インフルエンサータイアップによる告知展開

区分	令和 6 年 (2024年)										令和 7 年 (2025年)										令和 8 年 (2026年)						
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			
全体	基本計画策定期							実施計画策定期					大会開催制作期														
大会概要	大会名称・開催日・競技種目 制限時間・スタート時間・参加人数 ・参加費用 検討							関係各所協議・調整 (行政・警察・沿道自治体)					大会要項作成		募集要項作成												
コース計画	コース案検証							施設計画(関門・エイド・救護所・トイレ) 走路検証(スタッフ配置・資機材配置)					沿道施設マニュアル作成		コース図作成								●本計測				
拠点会場計画	拠点(スタート・フィニッシュ・ ランナー受付)会場検討							各種計画立案(レイアウト・動線・資材等) 会場との調整					マニュアル・図面作成 (スタート・フィニッシュ等) サイン計画										●陸連公認 ●コース図 ●マニアル 納品				
エントリー計画	募集方法の検討							エントリーサイト、エントリー枠、募集期間 招待選手候補 検討					歩留まり設定、 招待選手候補 調整		エントリーサイト 作成		招待選手等調整								採番		
競技運営計画	コース案検証、審判員の基本配置							陸協役員配置及び業務内容検討 適宜 陸連と調整					マニュアル作成		●仮計測								●本計測				
ボランティア 職員等	募集人数・募集方法・募集カテゴリー検討							配置計画策定(拠点・コース沿道) 自治会・団体・学校等協力打診					マニュアル作成		●陸連公認 ●マニアル 納品								●説明会実施				
警備計画	随時 警察との調整							配置計画・警備計画策定 交通規制・規制時間・迂回路計画					警備マニュアル作成		看板設置・沿道調整								●マニアル 納品				
医療救護計画	医療救護方針策定							医療救護実施計画策定(人員・対応フロー等) 医師会、看護協会、協力病院との調整					マニュアル作成		配置作業								●マニアル 納品				
セレモニー 関連事業	実施公式行事検討							セレモニー概要検討・出演者検討 来賓招待カテゴリー検討					台本・マニュアル作成		各種調整								●マニアル ●台本納品				
協賛	協賛基本計画策定(協賛ヒエラルキー・ 協賛メ리트・アタック先 等)							セールス期間					露出期間		スポンサー対応期間												
広報	広報基本計画策定							ランナー募集広報計画・ ボランティア募集・その他広報計画策定					大会情報の周知		交通規制情報の周知												
ツール	制作ツール検討							制作ツール数量・納期など調整、計画					デザイン作成		制作		●募集ツール 納品								●各種ツール ●ランナー ツール納品		
予算	予算収支検討・調整							各種計画と連動し予算調整					定期的な収支調整会議														

●実行委員会設立

基本計画発表

●大会公式HP・
SNS等立ち上げ

実施計画発表

●ボランティア
募集開始

募集要項発表・ランナーエントリー開始

●ランナー募集締切

●各種説明会

マラソン大会開催

エントリー期間

●本計測

●仮計測

●本計測

●募集ツール
納品

●各種ツール
●ランナー
ツール納品